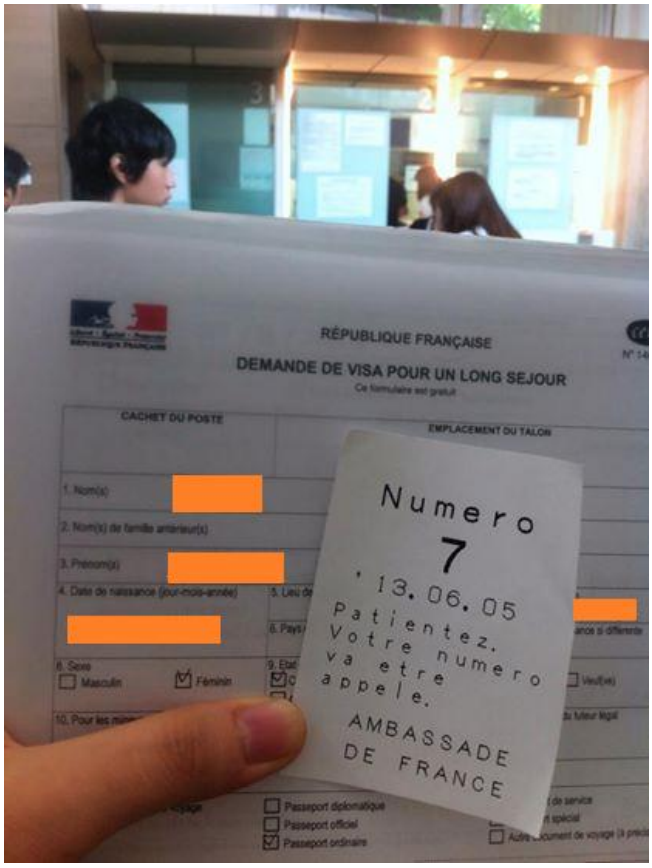
ESC Rennes School of Business
留学体験記

商学部４年
鄭　智丞

*Palais Galleiraにて

1. 出発前の準備（留学の目的と学習計画、入学許可申請、外国語能力、留学費用、奨学金、健康保険・旅行保険、ビザなど）

　フランス交換留学の目的は主に３つありました。まず一つ目は、新しい挑戦がしたかったため。二つ目は、第４カ国語目のフランス語を流暢に話したいという目標のため。最後の三つ目は、学生時代にしか経験できない「交換留学」という制度を逃したくなかったため。私は４年の後期から１年間交換留学をしたので、４年の前期までに卒業必要単位を 2 単位だけ残した状態でフランスに行きました。私はフランス語をきちんと学び、不自由なく話せるレベルまでになることを目標にしました。
　ビザについてですが、６月の上旬に ESC Rennes から入学許可書が送られてきたので、６月の中旬にフランスのビザを申請し、約一週間でビザを取得できました。
　出発前の外国語能力については、英語はほぼネイティブレベルでしたが、フランス語は「ボンジュール！」くらいでした。しかし、東京でもフランス人の友達が多かったので、フランス語をたまに教えてもらいました。
　奨学金は明治大学の留学助成金を申請し、２０１４年１月に頂くことができました。旅行保険は、大学から紹介されものに加入します。しかし、フランスに着いてからも国民健康保険に加入する必要があります。



＊ 広尾にあるフランス大使館にて

2. 協定校での諸手続き

ESC Rennes で授業が始まる前に、１週間にわたるオリエンテーションが学内で行われます。その中で、銀行口座、国民健康保険、定期券などの手続きが 2 日にかけて大学の中ですべて行われますので、学校のプラン通りにきちんとついていけば大丈夫だと思います。フランス国民健康保険の手続きもオリエンテーション期間内で行われ、半年～１年は約 220 ユーロでした。２つの大学生専用の国民保険会社がありますが、私は SMEBA を選択しました。また、フランスに着いてからの OFII の手続きは、かなりの時間がかかります。まず、学校のオリエンテーションの時に OFII の書類を出し、学校側が書類を OFII に送ります。その後、通常２ヶ月以内に書類が届いたという「確認書」が OFII から送られてきます。その書類は OFII で最後の手続きをする前までに絶対になくさないでください。OFII の最後のスタンプをもらう前までには、フランスから海外に行く時に必ず持参しなければなりません。（事務室補足：OFII は入国管理局にあたる組織。留学期間中にフランスから出国し再度入国する場合，OFII での手続きが必要。手続き完了まで２～４か月程度かかるため，クリスマスや年末年始にフランス国外へ行く予定がある場合は注意すること。）

3. 宿舎と日常生活

私はホームステイをしました。私のホームステイ先はレンヌの中心地である République にありましたので、とても便利でした。ホストママとも非常に仲がよく、初めてフランスに着いた時には話が全く通じなかったため、最初の２ヶ月は Google の翻訳でずっと話をしました。ホストママはとても優しい方で、ホストママからフランス語をたくさん教えてもらい、３ヶ月後には翻訳機なしで話すことができるようになりました。

レンヌでの生活は毎日がとても楽しかったので、フランスでの１年はあっという間でした。大学では学生主体の色々なイベント(Fall semester には学生主体のパーティが毎月１～２回)が行われますので、フランス人の友達がたくさんほしい方、フランス語を早く上達させたい方には、ぜひ積極的に参加するのをオススメします。私はフランス人の友達がたくさんいたので、友たちとよく車で Saint Malo、Dinan、Étretat、ベルサイユ宮殿、モンサンミッシェルなどに遊びに行ったり、ホームパーティもたくさんしたりしました。また、パリにも友達が多く、週末を利用し、オペラなどを観覧するため、パリには月１回以上は絶対に行きました。そして、私は Carte jeune を使って、電車のチケットを遅くても２週間前に事前予約をしていたので、安価でパリ-レンヌを往復することができました。TGV をよく利用される場合は Carte jeune(有効期間１年、約 50 ユーロ)を買いますとすごく得です。

休日には Bordeaux、Cannes、Nice、Paris、Toulouse、Brest、Laval、Bergerac などにあるフランス人の友たちの実家によく遊びに行きましたので、本物のフランスを味わう機会がすごく多かったです。私はフランスの中で旅をすることが好きで、フランスの全国一週も果たしました。また、フランス最大の Holiday のクリスマスには Cannes でフランス人の友達の家族と一緒に過ごしました。フランスのクリスマスは「とにかく食べる！」ですので、クリスマスの定番であるフォアグラを一生分食べました。そして、フランス以外の国はイギリス、イタリア、スイス、更にはモロッコにも行って来ました。フランスからの北アフリカは一番安いチケットで往復 100 ユーロくらいなので留学中にサハラ砂漠に行かれるのもすごくいい経験になると思います。

また、私は実践のフランス語を練習するために、ALMA(ショッピングモール)にある Hollister Co.でアルバイトもしました。最初はフランス人お客との会話が全く通じなく、フランス人の仲間を呼ぶことばかりでしたが、ホストママや、友達にお店でよく使われる言葉を教えてもらい勉強することで、最後にはフランス人お客様と相談までできるレベルにもなり、フランス語にかなりの自信が付きました。

＊We frequently held the home parties in this huge flat.
Special Thanks to C,F,Y and V :)

＊ Saint Malo　サンマロ
（レンヌから TER で約 50 分）

＊ Mont Saint Michel モンサンミッシェル
（レンヌからバスで約１時間、
夏に訪ねるのをお勧めします）

＊ Christmas in Cannes

*リヨン第三大学で交換留学をした商学部の後輩と一緒に。

＊ Ralph Lauren の Cocktail party にて
(Paris)

＊ Dune du Pilat（Bordeaux の近く）

＊ 春休みを通じて１週間のモロッコ旅

4. 協定校のカリキュラム・履修した授業、課外活動、留学の成果

私はフランス人学生が必修として受講する科目を中心に受講しました。例えば、Strategic Management Fundamentals、Logistics & Supply Chain Management や International Organisational Behaviour などです。ESC Rennes では、ほぼすべての授業が英語で行われます。授業時間は、３時間(１時間半の授業が２回連続)ですが、長い授業は６時間(１時間半の授業を４回連続；この場合は２週間で１回の授業)です。昼休みは１時間 45 分とゆっくり過ごす時間があります。また、フランス語の授業は週１回で３時間の授業でした。ESC Rennes では、授業別にグループワークがあり、勉強の量がすごく多いです。しかし、ESC Rennes では１人での勉強よりは、チームで役割を決めて勉強をしたので友達ももっとでき、楽しかったです。最後の授業では、Final group presentation と Final group report がありますが、成績に大きく反映されますので、かなりの力を注ぎました。

大学の学食は少し高めなので、ESC Rennes の学生は４番バスや３０番バスを乗り７分くらいで行ける Ville-Jean Université の学食(3.50 ユーロで安くて美味しい)をよく愛用しています。課外活動につきましては、大学に Gym があるので、そこで授業後によく運動をしました。

留学の成果は、ここの文章に書けないくらい膨大ですので全部は書けませんが、私は ESC Rennes で留学をすることにより、英語でのプレゼンテーション力が上達しただけではなく、フランス語の上達、そしてフランス人の価値観を深く理解することができた上、フランスという文化に溶け込むことができたと思っています。

The dream team from International Organisational Behaviour
/ After the “Very Successful” final group presentation

5. 帰国準備と帰国後の手続き

帰国の準備は携帯電話や銀行口座の解約くらいで、帰国後の手続きは明治大学に提出する書類以外には特にありませんでした。

6. 商学部学生へのメッセージ（400～600 字程度）

「チャレンジ」は新しい自分を作ってくれると私は信じています。そのチャレンジがたとえ成功であろうと失敗であろうと、そこから学べるものはきっとありますし、将来への近道になると考えています。私は４年の後期から１年間の留学をしました。卒業を半年延期し、就職活動の時期を逃してしまうという大きなリスクがありましたが、私には強い信念がありましたので、交換留学を選びました。将来への道は一つだけではなく、幾つかの道があると思います。その中から自分に合う道を見つけ出し、きちんとした信念を持った上で、それを実行していくことが大事だと私は考えています。大学に入ると、様々な経験ができる機会が数多く与えられると思いますが、それを掴み、自分のものにしていく人は少ないと思っています。大学生のうちになるべくたくさんの経験と挑戦をして、本当の自分を探し出してほしいです。国内であっても海外であっても「挑戦」だと思えるようなことがあるなら、迷いなく挑戦してみてください。その挑戦をした後には、きっと、気づかないうちに自分の中に大事なものが作られているはずです。

学部 HP への掲載を　許可します